

第一回意見交換会 議事録

平成 17 年 6 月 18 日 14:00 ~ 16:30

会場 県庁昭和庁舎 4号会議室

参加者 16 名



フリートーク

椎間板ヘルニアで、インターネットで検索したが、群馬県は何も見つからなかった。医師会のホームページには、所在地しか載っていなかった。

病院は広告をしてはいけなかった。

広告やインターネットは、自分にとって不都合なことは出さない。医師会は、おっかなびっくりである。情報はどんどん増やしていきたい。

病院にいった時に、常に医者の方が上になってしまう(医者まかせ)。自分たちが医療を知らないとチーム医療は出来ない。

本題

病院も連携を考えているが、歩みが鈍い。教育をしている。

医師と看護師の数は少ない。

【透明性】

透明性を持つために評議委員(NPOではなく第3者機関)を設ける。

プライバシーマーク 規模によって値段が違う 150~200万円くらい

セキュリティは仕組み作りが必要である

個人情報については各施設に、社会福祉協議会からマニュアルが届いた。

透明性と個人情報は別である。

【継続性】

お金の問題だけではなく、NPOが無くなったら、仕掛けごと無くなってしまう可能性がある。情報を残せる仕組み作りである。

公共的なバックアップが必要なのではないか

【NPOの資金源】

共同研究の企業に研究費を出してもらっている。
経常収支で収入が上回っていれば運営は可能ある。
会費については当面は無償が良く有償化については別途協議が必要。

【社会貢献】

個人の情報を利用するという事(個人を特定する項目はない)
皆の持っている小さな経験は、たくさん集まると大きなものとなる。
もっと身近にリターンがあることを謳う。提供することを明確にするといい。
良かったこと悪かったことの情報流したい。
精神障害者は本当のことを言うか 匿名なら可能かも。
パソコンを利用できない人に対しての、フォローを必要ではないか。

7月16日は問診表について